１１　教育

	タイトル	意見等
1	魅力ある学びの場の創出に向けた教育環境の強化について	○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官及び文部科学省高等教育局長を通じて、魅力ある学びの場の創出に向けた強化の取り組みを実行しなければならない。 ※具体的には徳島大学を東京大学徳島校にすること。 ※具体的には鳴門教育大学を東京学芸大学徳島校にすること。 ※具体的には徳島文理大学を慶應義塾大学徳島校にすること。 ※具体的には阿南工業高等専門学校を東京科学大学附属阿南工業高等専門学校にすること。 ※具体的には神山まるごと高等専門学校を慶應義塾大学理工学部附属神山まるごと高等専門学校にすること。 ※具体的には徳島工業短期大学を豊田工業大学徳島校にすること。
2	魅力ある学びの場の創出に向けた教育環境の強化（高校教育改革）	○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県内の公立高等学校の普通科（徳島市立高等学校の普通科を含む。）を全て文理科へと高校教育改革を推進しなければならない。 ※大阪府立北野高等学校，大阪府立天王寺高等学校，大阪府立高津高等学校，大阪府立大手前高等学校など ○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立鳴門高等学校，徳島県立阿波高等学校，徳島県立脇町高等学校に理数科を復活しての高校教育改革を推進しなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立徳島北高等学校を徳島県立徳島国際高等学校に校名変更を行って、全国枠で生徒を募集しなければならない。 ※東京都立国際高等学校，神奈川県立横浜国際高等学校，兵庫県立国際高等学校など ○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立城西高等学校を徳島県立徳島生物資源技術高等学校に校名変更しなければならない。 ⇒旧制徳島県立徳島農業学校
3	魅力ある学びの場の創出に向けた教育環境の強化（農業系高等専門学校）	○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、農業系高等専門学校については徳島県立吉野川高等学校の農業科学科及び生物活用科を母体にして、徳島県立吉野川農業生物科学高等専門学校を開校しなければならない。
4	徳島県「ネクスト・ハイスクール事業」におけるソフト事業について	○徳島県立徳島科学技術高等学校と東京科学大学（旧東京工業大学）及び電気通信大学との間で高大連携教育ができるようにしなければならない。 ※徳島県立徳島科学技術高等学校を「徳島における東京都立科学技術高等学校（創造理数科及び科学技術科）」にする。 ※二級建築士の国家資格取得，ボイラー技士の人材育成，発破技士の人材育成など

１１　教育

	タイトル	意見等
5	徳島県「ネクスト・ハイスクール事業」におけるソフト事業について	○徳島県立徳島商業高等学校において、日本商工会議所主催の日商簿記二級検定の取得，販売士の資格取得ができるようにしなければならない。 ※日商簿記二級の合格者は、公認会計士事務所の所長又は税理士事務所の所長の片腕になれる。⇒財務諸表（貸借対照表・損益計算書）の作成ができる。確定申告書の作成のお手伝いができる。 ※講師は慶應義塾大学商学部の会計学の先生・商業学の先生・簿記論の先生など
6	学校のデジタル化	お忙しいところ失礼します。 今学校ではデジタル化が進んでいます。 黒板を見ずにタブレットやテレビ画面を見て授業をする。 そこに非常に違和感と不安を感じています。 目と脳に良くないと思うのが一番の理由です。 学生のうちは紙と鉛筆にどんどん触れた方がいい。 古い考えだからではありません。 今年の夏休みにノートパソコンを持って帰って来ました。生徒一人一人に持たせて。 パソコン上の宿題もありました。それも本当にやめて頂きたい。 世界ではタブレットやスマホを制限する方向に進んでいます。 逆に日本はどんどんデジタル化を取り入れている。 今の日本は良くない。教育は良くない。 何でも流行りを取り入れるだけではなく学校側は何が子供達にとって一番良いのか、それぐらいは真剣に考えて欲しい。 少しでも今の子供達への教育に役立ちますように。 宜しくお願い致します。
7	魅力ある学びの場の創出に向けた教育環境の強化（高校改革）	○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県に「徳島県公立高等学校教育構造改革特区」を創設して県内のすべての公立高等学校に公設民営方式を導入して、私立高等学校の民間活力によるノウハウですべて県内の公立高等学校に独自のスク-ルカラーや校風が出せるようにしなければならない。 ※開成高等学校，灘高等学校，麻布高等学校，渋谷教育学園渋谷高等学校及び渋谷教育学園幕張高等学校，海城高等学校，駒場東邦高等学校，洛南高等学校，西大和学園高等学校，愛光学園高等学校，土佐高等学校など